

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構建築研究本部

Mail Magazine【建築研究本部かわらばん】VOL.124 2019/11/20

このメールマガジンは、北海道立総合研究機構（道総研：どうそうけん）建築研究本部が、日頃の調査研究、普及業務などで携わっているニュースを中心に、毎月お送りしているものです。

今月号のトピックス

■建築性能試験センターより
依頼試験について

■北方建築総合研究所より
□研究紹介

「地域特性に応じた再生可能エネルギー供給と省エネルギー技術の社会実装」

■お知らせ

□「道総研まちづくり塾2019」を開催しました。

□函館市できた住まいる現地見学セミナーを開催します（12/10（火））。

□ホームページの更新情報

■建築性能試験センターより
□依頼試験について

評価試験課 評価試験G 土井

建築性能試験センターでは、民間企業や市町村からの依頼により、建築やまちづくりに関する試験や調査を行っています。

平成28年（2016年）9月にJNLA登録試験所としての認定を受け、音響透過損失試験（JIS A 1416）、建築材料の熱伝導率試験（JIS A 1412-2）、開口部材の断熱性能試験（JIS A 4710）についてJNLA印章付成績書の発行に対応しているほか、依頼者の相談から希望に添う試験内容の提案実施、カタログ掲載への利用など、多岐に渡り幅広い分野でご利用いただいております。平成30年度には、道内外から110件の利用がありました。

依頼者のみなさまの技術開発・課題解決等に是非、建築性能試験センターの依頼試験をご利用下さい。

▼依頼試験について、詳しくはこちらをご覧ください。

http://www.hro.or.jp/list/building/bptc/h/irai_siken1.html

（料金表に掲載のない試験についてもご相談承ります）

▽10月の構造計算適合性判定業務の実績

受付 7件 (8棟)
結果通知 9件 (11棟)

10月の判定依頼は、ホテル、共同住宅、店舗、スポーツ施設、倉庫、個人住宅、児童福祉施設が各1件でした。

■北方建築総合研究所より
□研究紹介「地域特性に応じた再生可能エネルギー供給と省エネルギー技術の社会実装」

(2019～2023年度 戦略研究)
地域研究部 環境防災G 立松

道総研では道の重要な施策などに関わる分野横断型の研究として、「食」「エネルギー」「地域」に関する戦略研究を実施しています。「エネルギー」の戦略研究は昨年度で第1期5か年が終了し、今年度から第2期に入っています。

第1期では、エネルギーを「さがす」「つくる」「ためる」「つかう」「しめす」をキーワードに、道内で利用できる再エネがどこにどれだけあるのかの推定や、それらを効率よく使うための需給モデルの構築などに取り組みました。

第2期では、より実現を重視した取組みとするため「社会実装」を課題名に掲げ、道内で計画されている具体的なプロジェクトと連携した技術開発・実証試験を行うこととしています。

具体的には、「施設や街区の省エネ化」「木質バイオマスや地中熱を活用したエネルギーの地産地消」「未利用資源のエネルギー利用」といったテーマで、いくつかの地域を対象に各種技術開発と実証試験を行います。

本研究は産業技術研究本部の工業試験場を代表機関として、森林研究本部や環境・地質研究本部の各機関と共同で取り組んでおり、建築研究本部は施設・街区における省エネ化や再生可能エネルギー利用技術の改善を担当しています。

公共施設整備を通じた再エネの供給・利用拡大など、既にいくつかのプロジェクトを対象とした検討に着手しており、技術開発と並行して導入プロセスの検討や社会的合意形成に必要な各種評価を行うことで研究成果の実装を目指します。

▼詳細はこちら。

http://www.hro.or.jp/pdf/2_StrategicStudy_Energy2.pdf

■お知らせ

□「道総研まちづくり塾2019」を開催しました(10/16(水)～18(金))。

昨年度に引き続き、市町村職員を対象とした「道総研まちづくり塾2019」を開催しました。

まちづくり塾は、急激な人口減少、超高齢化、自治体財政のひっ迫などの社会情勢に対応するため、研究成果や実践例をもとに市町村と道総研職員が“50年後のふるさとづくり”を共に考える機会です。

今回も少数精鋭の市町村職員が、講義や討論から道総研や他機関の研究知見を識り、道総研の研究者とともにまちづくり戦略を実践的に思考検討することで、将来のまちづくりの方向性を考えました。

今年度は新たな取組みとして、50年後を起点に現在の課題を捉えなおしてもらった発想方法(バックキャスト)を取り入れました。参加者全員で未来人になりきって50年後の暮らしを想像し、その後各市町+道総研職員のチームに分かれて、理想的な未来を実現するために、現在から実施しなければならない取組みは何かを考えました。

「道総研まちづくり塾」は、来年度以降も開催を予定しております。ご関心のある市町村職員の方はぜひ参加をご検討ください。

▼詳細はこちら。

<http://www.hro.or.jp/list/building/koho/press1/181106.html>

■お知らせ

函館市できた住まいる現地見学セミナーを開催します（12/10（火））。

北海道が推奨する「きた住まいるメンバー」の家づくり現場において、省エネ性能に優れた高性能な住宅の設計から施工までの留意点やコスト等について説明を受け、参加者との意見交換を交えながら実施します。ふるってご参加くださいますようお願いいたします。

名 称：きた住まいる現地見学セミナー

主催：北海道

主管：（地独）北海道立総合研究機構建築研究本部、建築指導センター

共催：（一社）北海道ビルダーズ協会

日 時：2019年12月10日（火）10：00～11：30

場 所：函館市

参加料：無料（先着20名、定員になり次第締め切ります）

お問い合わせ：一般財団法人北海道建築指導センター企画総務部企画総務課
猪俣、佐久間
TEL：011-241-1893, FAX：011-232-2870

■お知らせ

ホームページの更新情報

■2019年10月30日更新

メールマガジン「建築研究本部かわらばん」（vol.123）を配信しました。

<http://www.hro.or.jp/list/building/koho/newsletter/index.html>

■2019年11月15日更新

「道総研まちづくり塾2019」を開催しました。

<http://www.hro.or.jp/list/building/koho/press1/181106.html>

=====
管理者からのお知らせ

=====
アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが下記の各種お問い合わせ専用アドレス宛てにメールにてお知らせください。

登録内容の変更や配信停止は、下記のアドレスをクリックしていただき、ホームページ上で手続きを行ってください。クリックしても正しく表示されない場合は、アドレスをコピーしてブラウザに貼り付けてご利用ください。

メールアドレスの変更、配信停止の手続きを行ったにもかかわらず、行き違いにより配信される場合がございますので、ご了承ください。

■購読申込・変更・配信停止はこちら

https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_n

変更・配信停止の場合は、ご意見、ご質問欄に「変更」または「配信停止」と記載してください。

■各種お問い合わせメールフォーム

https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_q

ご登録いただいた情報は、メールマガジンの配信及びイベント情報の配信を目的として利用し、それ以外の目的に使用することはありません。

発行：(地独)北海道立総合研究機構 建築研究本部
<http://www.hro.or.jp/list/building/>